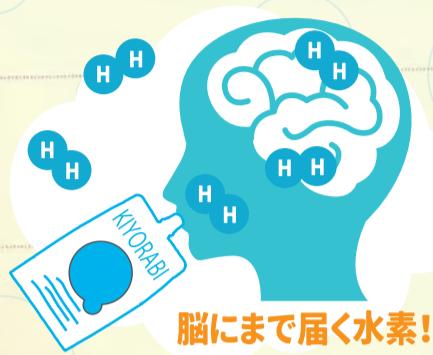


水素は脳に届くからスゴイ!

抗酸化剤の難点

老化の原因である活性酸素。その活性酸素をなんとかしてやっつけようと、今までに様々な抗酸化物質が開発・発見されてきました。しかし、そういう抗酸化物質には分子量(大きさ)が大きいため、カラダの中に辿り着けない場所がある、という難点があります。実は、その難点をいつも簡単にクリアしてしまうのが水素なのです！



“脳”の中に届く水素

脳の中には血液脳関門という関所があり、必要なもの以外は簡単に入り込めないような仕組みになっています。しかし、水素分子は非常に小さいため、その脳関門を通過することができるのです。例えば、セサミンやコエンザイムQ10などの抗酸化物質は分子量が大きいので、脳関門を突破することができません。水素は大切な脳の神経細胞を悪玉活性酸素から守ることができるという点でも、他の抗酸化物質よりも優れています。

細胞の核にも水素は届く

細胞の核まで届くのは水素だけです。細胞膜はリン脂質という油性のものでできています。一方、細胞の中の細胞質は水溶性であるため、油性の物質は細胞膜に留まり、水溶性の物質は細胞膜にはじかれて通過することができません。しかし、水素はもっとも小さい分子であるため、この細胞膜も脳関門と同じく難なく通過することができます。核の中にあるDNAを守ることができるもの水素だけなのです。



核にまで届く水素!

キヨラビ Q & A

KIYORA きくち よくある質問

Q. お水に1.6ppm以上の水素を溶かし込むことはできるの？

A. 1.6ppm以上の水素を溶かすことはできます。しかし圧力をかけることによって、飽和濃度以上の水素を溶存することができるのに、圧力がかかっていない状況下では飽和濃度以上の水素は抜けてしまいます。よって、1.6ppm以上の水素水は飲むことは難しいでしょう。

キヨラビのパウチにも書いてある、1.2ppmでも十分に水素がカラダ全体に行き渡る濃度です。余った分は呼気から出てしまうほど高いんです。

Q. 水素水を白湯にして飲めますか？

A. お湯を入れたボウルなどで、パウチごと湯せんをしていただけます。直接やかんやお鍋で加熱すると、熱によって水素が逃げてしまいますので、パウチごとの湯せんをお願いします。

そもそも私は、戦うとか、競争に勝つとか負けるとかの意識がとても薄い。計画を立て遂行し結果を出す！こういった思考法も男性に比べればかなり脆弱だと思いません。でも何とかなっているわけです、直感的判断で（笑）。もし女性で起業を考えている方がいらっしゃったら、男性と張り合うとか、真似をするのではなく、自然体でやつたとき、自分は子育てを通して得た経験を再利用しているのかなど、思わず笑ってしまいました。

みなさんこんにちは！いかがお過ごしでしょうか！10月になり、季になつてきましたので、お風呂が気持ちいい時期もありますね！たまには水素入浴剤のさくらキヨラビのお風呂に浸かってカラダを芯から温めるのもいいかもしれませんね！そして今月は水素入浴剤に関する重大発表もありますので、お見逃しなく！

月刊
キヨラビ
10月
通信

特報

水素入浴剤 ナチュラルキヨラビ 発売決定！

NATURAL KIYORABI
ナチュラルキヨラビ
For your natural bathing



水素入浴剤スパキヨラビリーズに新しく「ナチュラルキヨラビ」が加わることになりました！ナチュラルという名前のおおり、香料や着色料等を使用しておらず、水素のみを発生させるので、ナチュラル志向の方でも安心してお使いいただけます。無色・無臭なので普段使っているお気に入りの入浴剤に「ナチュラルキヨラビ」をプラスして、自分での水素入浴を楽しむのもひとつ的方法！水素入浴の楽しみ方の選択肢が広がりました！



菊池渓谷

のひとつです。紅葉の名所としても知られている菊池渓谷。秋の落葉は渓谷の辺り一面を紅く染め、深みのある独自の色合いを見せます。斜光に照らされた紅葉と清流のしぶきとが織なす神秘的な様相はまさに渓谷美の極致といえるでしょう。

ナノ水素水キヨラビのおいしさを語るうえで欠かせないのが、熊本県菊池市にある「菊池渓谷」です。キヨラビは名水百選にも選ばれている阿蘇の伏流水を100%使用しており、菊池渓谷にもその清らかな水が流れています。また四季によって表情を変え、その景観も渓谷の魅力

「経営は子育てと同じ？」

会社経営どころかサラリーマンの経験すらほほない経営者である私たちは、会社を始めたころ戸惑うことも多々ありました。あれこれ考えてはみましたが、結局自分たちにできるやり方でやるしかないということになつたわけです。それはそれで良かったと思っていますが、いろいろな企業とお付き合いをさせていただくようになつて、逆にどれほど変わった経営をしているか思い知られることになりました（笑）。

私はもともと数字に弱いというか、数字から計画を立てたり、先を見込むということがあまり上手くできないので、損益分岐点が：とか、費用対効果が：と言われても、「うん、分からぬはないけど、で？だからなんの？」と思ってしまうわけです。要するに論理的思考が苦手なわけです。でも直感だけはなぜか外れることがありますね」と思つてしまふわけです。そこそこ社員の表情のほうが私にとっては大事なのです。イキイキとした表情で仕事をしているか、苦しそうな顔をしていないか、そういうことのほうが気になります。まさしく子育ての感覚です。

大神社長の
おしゃべりを
少々

